

## ■株主メモ

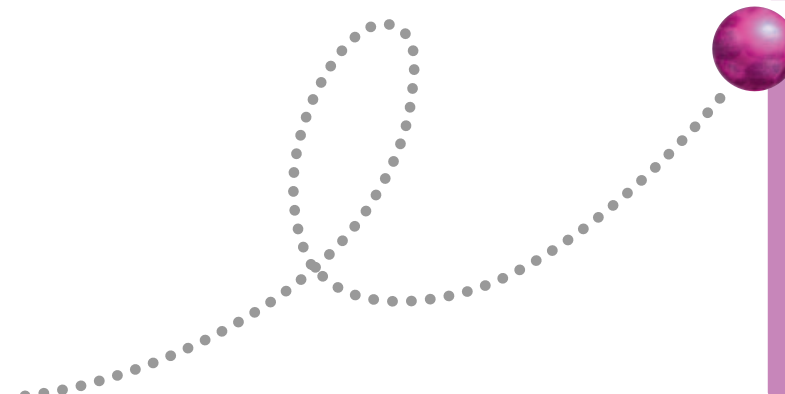
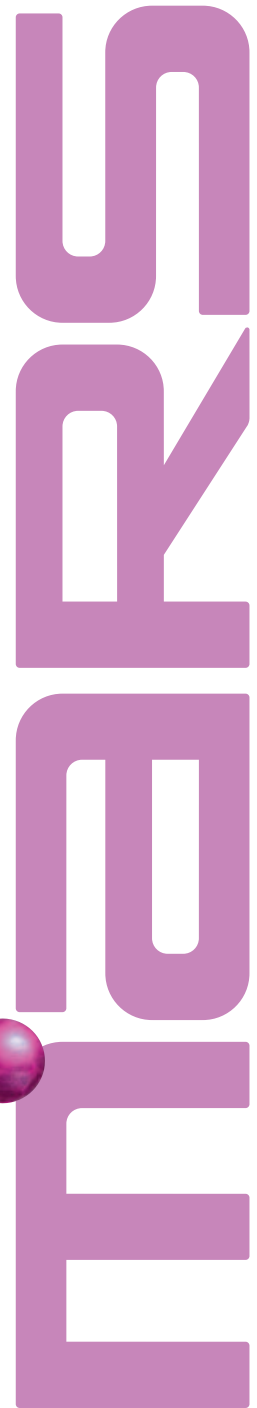
決算期	3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式の数	100株
利益配当金	毎決算期現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により、中間配当を実施する場合、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
名義書換代理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同取次所 公告の方法	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本経済新聞に掲載します。ただし、商法特 例法第16条第3項に定める貸借対照表および 損益計算書に係る情報は <a href="http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html">http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html</a> において提供します。
上場証券取引所	東京証券取引所

## 第30期 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで



株式会社 マースエンジニアリング  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-7  
TEL. 03-3352-8555 (代)  
URL : <http://www.mars-eng.co.jp>

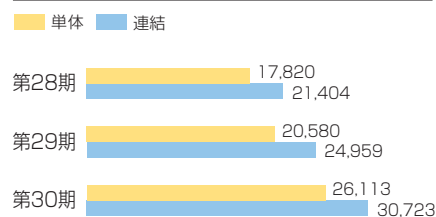


# Financial Highlights

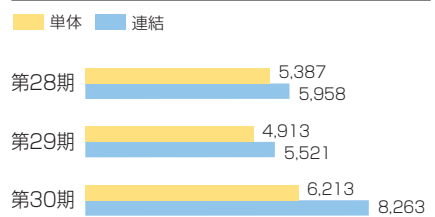
単体	第28期	第29期	第30期
	(平成14年3月期)	(平成15年3月期)	(平成16年3月期)
売上高 (百万円)	17,820	20,580	<b>26,113</b>
経常利益 (百万円)	5,387	4,913	<b>6,213</b>
当期純損益 (百万円)	2,432	△692	<b>3,143</b>
資本金 (百万円)	7,934	7,934	<b>7,934</b>
純資産額 (百万円)	26,951	25,563	<b>28,431</b>
総資産額 (百万円)	33,697	29,448	<b>35,040</b>
自己資本比率 (%)	80.0	86.8	<b>81.1</b>
1株当たり純資産額 (円)	2,372.51	2,245.61	<b>2,495.51</b>
1株当たり配当額 (円)	50	50	<b>60</b>
1株当たり当期純損益 (円)	214.11	△65.70	<b>269.37</b>

連結	第28期	第29期	第30期
	(平成14年3月期)	(平成15年3月期)	(平成16年3月期)
売上高 (百万円)	21,404	24,959	<b>30,723</b>
経常利益 (百万円)	5,958	5,521	<b>8,263</b>
当期純損益 (百万円)	3,030	△714	<b>4,240</b>
資本金 (百万円)	7,934	7,934	<b>7,934</b>
純資産額 (百万円)	26,446	25,030	<b>28,987</b>
総資産額 (百万円)	39,879	38,699	<b>45,280</b>
自己資本比率 (%)	66.3	64.7	<b>64.0</b>
1株当たり純資産額 (円)	2,328.08	2,197.95	<b>2,543.34</b>
1株当たり配当額 (円)	50	50	<b>60</b>
1株当たり当期純損益 (円)	266.78	△68.38	<b>364.85</b>

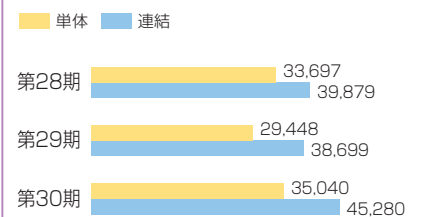
売上高 (単位:百万円)



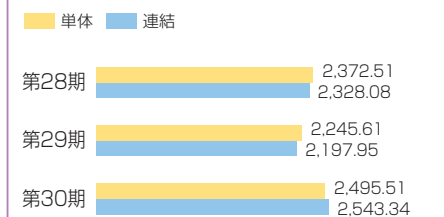
経常利益 (単位:百万円)



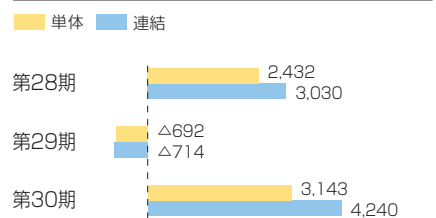
総資産 (単位:百万円)



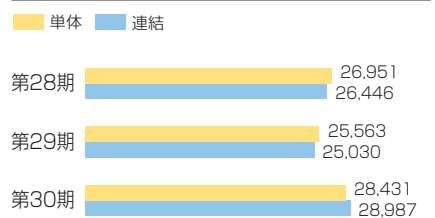
1株当たり純資産 (単位:円)



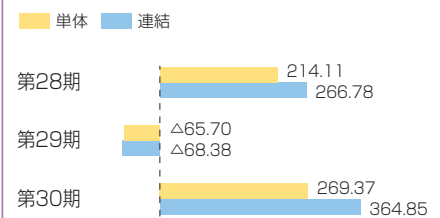
当期純損益 (単位:百万円)



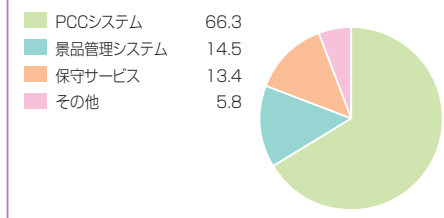
純資産 (単位:百万円)



1株当たり当期純損益 (単位:円)



売上構成比 (単位:%)



## 30周年の新たな飛躍を期し マース・ブランドの浸透と拡大を目指します。

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。当社の事業活動につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第30期（平成15年4月1日～



代表取締役社長 古宮重雄

平成16年3月31日)の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の経済環境は、景気回復の兆しの一部で見られたものの、構造的なデフレに伴う雇用不安や個人消費の低迷が続き、本格的な回復には至りませんでした。当社の主要顧客であるパチンコ業界は、ピーク時は3,000万人とされた総遊技客数も2,000万人まで減少しました。大手ホールを中心に店舗の大型化が進む一方で、過当競争によって従来型の小規模ホールが淘汰され市場構造の二極化が進み、業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。しかしながら、前年比では総遊技客数、総遊技台数とともに微増となるなど、一部で明るい兆しも見受けられ、今後は特にライトユーザー層の回帰が期待される所です。

こうした市場環境の中で、当社グループは、プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムが多くのホールに受け入れられ、この2年半程の間、単月度の導入件数ではトップシェアを維持し続けています。今期の売上実績は426店舗（前年同期比7.0%増）

となり、3月末現在の導入実績は累計で1,250店舗、シェア10.6%に達しました。市場規模そのものが停滞し新規店が少ない状況の中でも、当社の製品力や利便性が評価され、特に中大型店でプリペイドカードをご採用いただいていることなどから新たな注文へと結びついたものと考えます。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高307億23百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益81億75百万円（同49.0%増）、経常利益82億63百万円（同49.7%増）、当期純利益42億40百万円（前連結会計年度 当期純損失7億14百万円）と、いずれも過去最高となりました。これにより、当連結会計年度の自己資本利益率は15.7%となりました。

当社は、これまで景品管理システムのトップメーカーとして全国に営業サービス網を築き、きめ細かいメンテナンス体制を整えてきました。そのために業界では後発であったプリペイドカードも、景品管理や会員管理のシステムと一体化した総合システムとして提供することができました。まさに当社の強みは、優れた製品力とともに、ホールで使用するシステム機器のすべてについて、開発から製造、販売、サービスまで一貫して行っていることといえるでしょう。今後も、主力製品となったプリペイドカードを中心に、業界

の買い換えサイクルの中で確実にシェアの拡大を進めてまいります。また、プリペイドカードで培った非接触ICの技術力と商品力は、パチンコ業界以外にも注目を集めつつあります。

当社は、平成16年9月に創立30周年を迎えます。振り返れば、創立当初からの「マース・ブランドをしっかりと市場に出していきたい」という思いの積み重ねが、今日の業界での評価となったものと考えています。また、早くからISO9001品質マネジメントシステムを導入し、品質向上・原価低減と同時に、全国に広がる営業サービス網に顧客第一主義を浸透させていくことに努めてまいりました。

30周年の節目を機に、「技術開発力のマース」のブランド力をパチンコ以外の市場に拡大・深耕させたいという思いを込め、「脱パチンコ専業」をスローガンに、グループの総合力を活かし積極的にパチンコ以外の新規ビジネス分野にも開拓を推してまいります。今はまだパチンコホールの中でしか目に付かないマースというブランドが、いずれ街角のどこかの店で見られるような状況になればと願い、新たな発想による画期的なシステム商品の開発に注力してまいります。

今後とも倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# MARS TOPICS

## アパレル業界向けのRFIDトータルソリューションを提案

RETAILTECH JAPAN 2004（流通情報システム総合展）でマースグループの新製品が話題に

今年3月2日～5日の4日間、東京ビッグサイトで、流通業における情報システム化をテーマとした「流通情報総合展（リテールテック・ジャパン2004）」が開催され、マースグループ提供のRFID（非接触データキャリア）製品が話題になりました。

すでにRFID技術を駆使した「サイクルカードシステム」の開発で評価の高いマースグループでは、パチンコ周辺機器分野で培った技術開発力を他の事業分野にも活用し、流通業界向けのRFIDシステムの製品化を進めてきました。

今回の展示会では、アパレル業界のICタグ標準化をサポートする（株）マーステクノサイエンスが出演したリーダライタのラインナップが注目を集めました。

「ICR-300H」は、操作性を追求したPDA対応のポータブルリーダライタです。軽量コンパクトなアンテナとバッテリー内蔵のハンディリーダライタで構成され、PC

カードを通じてPDAに接続してパソコンにデータを送信します。電源コードレスで、場所を選ばずに利用が可能。PDAに接続することでスムーズなデータ収集ができ、商品管理を始め幅広い用途に使用できます。

「VTC-450」は非接触ICリーダライタ内蔵のフォトダクリーダライタ。ICカードを接触させることなく確実にデータを読み取ります。小型ビジブル磁気ヘッドの搭載で本体はコンパクトに設計されているためレジカウンターや受付などにスマートに設置することができ、顧客のデータ管理に威力を発揮します。

「ICU-150S/151S」は、機能とデザインを追求した非接触ICカード対応のリーダライタ。従来の箱形とは異なるポケット式（特許出願中）の採用で、スマートな設置が可能。USB接続とRS232C接続の2モデルがあり、使用パソコンにあわせて選ぶことができます。



ICR-300H

## 市場シェア3位実現を目指して、ますます好調のサイクルカードシステム

パチンコ市場で伸び行くマースの製品力

マースグループのパチンコ関連事業は、遊技機以外のあらゆる周辺機器を扱い、開発・製造・販売・メンテナンスまで一貫して行っています。中でもプリペイドカード市場で当社のシステムは高く評価され、主要な機能は業界の標準になりつつあります。

当社は1999年に、パチンコ機とパチスロ機の両方に対応できるサイクルカードシステムを開発し、プリペイド事業に参入しました。この分野では最後発組でありシェア0%からのスタートでしたが、先発の競合他社との差別化を図る独創的な機能を持った新製品を市場投入することで、市場を開拓。販売競争が激化する中で、導入実績は毎月次において2年半以上連続でトップとなり、2004年3月末現在の導入実績は累計

で1,250店舗、シェア10.6%となりました。

現在、当社では、顧客のニーズやホールの規模にあわせ、カードタイプとコインタイプの2仕様で、プリペイドカードの非接触ICカード化を進めています。当社のプリペイドシステムは、顧客であるホールにとって導入メリットがあるだけでなく、利用するお客様にとっても利便性の高いシステムである上に、メンテナンスなどの当社のきめ細かいサービス体制が評価されたことが、プリペイドカード市場での新規導入と買い換えサイクルの中で急速なシェア拡大につながり、当社の業績好調の原動力となっています。また、当社の独自技術による4金種対応紙幣識別機

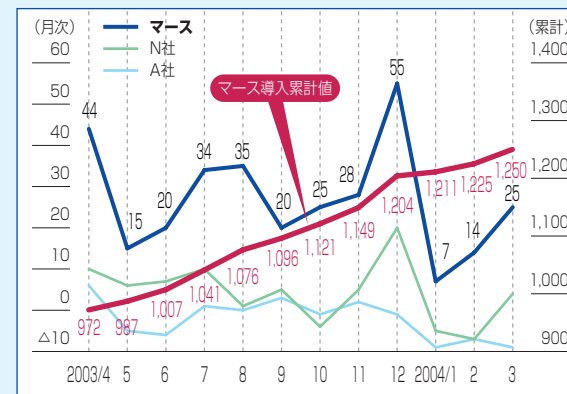


ロータリービルバリ

「ロータリービルバリ」の高評価も、コインシステムの販売台数を大きく伸ばす要因になっています。

また、2004年7月遊技機の規則改正にあわせ、積極的な新製品の投入で、さらに差別化を図るとともに、ホールコンピュータや鳥補給設備などの販売を強化し、総合力の向上に努めていきます。プリペイドシステムは、31期中に業界シェア3位の実現を目指します。

### プリペイドシステム上位3社導入店月次動向(店舗数)







当社グループは、当社及び子会社5社（当連結会計年度末現在）により構成されており、パチンコ関連の製造販売を主たる業務としております。

今後の発展を期するため、グループ会社間の人的融合と事業の協調体制を図りながら強い企業集団を目指してまいります。さらに経営の効率化を進め経営基盤の強化を図るとともに、安定した収益の確保のため「開発型企業グループ」として、すべての顧客の満足を勝ち取り、顧客本位のシステムを構築し、行き届いたサービスを提供してまいります。

### 株式会社マースコーポレーション

（株）マースエンジニアリングが製造するアミューズメント施設向け電子機器のシステム販売、リース事業、損害保険代理店業務及び不動産の賃貸借管理。

### 株式会社ウインテック

電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導。自社開発製品は、紙幣識別機、カードリーダー、自動販売機、カードプリンタなど。

### 株式会社マーステクノサイエンス

カードシステムの第三者管理、情報処理機器の企画及び販売、情報処理サービスの提供、ICカードの販売、RFID（非接触データキャリア）事業、及び関連ソフトの開発。

### 株式会社マースラインテック

パチンコ島補給装置の設計・製造。

### 株式会社ホテルサンルート博多

（株）マースエンジニアリングの所有地を有効活用して福岡市の市街地に設立された「ホテルサンルート博多」の運営管理及び関連事業を行うアセットマネジメント事業。

## 営業の概況

### ■営業の経過および成果

当期における我が国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など、景気回復の兆しの一部で見られたものの、構造的なデフレに伴う雇用不安や個人消費の低迷により、本格的な回復には至りませんでした。

パチンコ業界におきましては、個人消費の低迷による遊技客の減少や遊技機の早い入替による設備投資の増加で、倒産件数・負債額はともに前年を上回り、ホールを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。また、ホールの大型化が進み、大手ホールは効率の良い経営で新規チェーン展開を加速する一方、過当競争によって中小型ホールが淘汰されるといった二極化が進み、ホールの件数は年々減少しております。そのような中でパチスロ機の人気に支えられ、減少を続けていた当業界の市場規模及び参加人口はともに下げ止まるなど、一部で明るい兆しが見受けられました。

このような情勢の下で当社は、プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムにおいて、顧客ニーズを先取りした多様な製品を取り揃え、開発や販売に注力してまいりました結果、販売競争の激化により当初計画の販売件数は下回ったものの、売上実績は426店舗（前期比7.0%増）となり、1店舗あたりの売上単価が増加したことから前年の売上を上回ることができました。これは以前より当社が提案してまいりましたパチンコ機とパチスロ機の全台プリペイドカードシステム化を望むホールを多く獲得したこと、ホールが大型化していることが挙げられます。

なお、導入実績については、直近2年間の毎月次においてトップの座を維持しており、累計1,250店舗（市場シェア10.6%）となっております。

この結果、当期の業績は、売上高261

億13百万円（前期比26.9%増）、営業利益60億87百万円（同25.3%増）、経常利益62億13百万円（同26.5%増）、当期純利益31億43百万円といずれも過去最高となりました。

### ■設備投資および資金調達の状況

当期については、主に新製品開発に係る金型70百万円、RFIDの機械装置50百万円等、全体で1億42百万円の設備投資を実施いたしました。

資金調達につきましては、当期において実施しておりません。

### ■当社が対処すべき課題

我が国経済は、個人消費の低迷や雇用回復の遅れなど、先行き不透明な要素を含みながらも企業収益が緩やかに改善し、設備投資も増加傾向に転じるなど一部に明るい兆しが見られ、景気は緩やかな回復傾向が続くものと思われまます。

こうした状況の中で、パチンコ業界は長引く不況により、依然低迷しておりますが、厳しい環境の下でも利益を確保するため、原価低減をなお一層推し進め、粗利益率の向上に努めてまいります。

また、技術開発型の企業として、市場の変化を的確に捉え、顧客ニーズを取り入れた製品を迅速に市場投入するとともに、メンテナンスフリーな製品開発に注力し、競合他社との差別化や優位性を確保してまいります。

販売面においては、積極的な営業や提案営業により業績の拡大を図るとともにブランドイメージの高揚と認知度を高めてまいります。また、プリペイドカードシステムの市場シェア3位実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜わりまますようお願い申し上げます。

# 連結決算概要

## ■連結貸借対照表

資産の部	(単位:千円)	
	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>32,174,627</b>	<b>26,510,757</b>
現金及び預金	10,633,446	7,286,078
受取手形及び売掛金	10,518,982	10,313,582
有価証券	7,134,206	3,425,487
たな卸資産	3,184,929	3,519,687
繰延税金資産	499,330	865,704
未取還付法人税等	—	933,050
その他	239,754	190,165
貸倒引当金	△36,021	△22,999
<b>固定資産</b>	<b>13,105,732</b>	<b>12,188,361</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>10,511,211</b>	<b>10,357,201</b>
建物及び構築物	4,233,891	4,065,146
工具器具備品	375,742	481,983
土地	5,782,399	5,699,374
その他	119,177	110,696
<b>無形固定資産</b>	<b>91,466</b>	<b>138,313</b>
連結調整勘定	6,901	16,430
その他	84,565	121,882
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,503,053</b>	<b>1,692,847</b>
投資有価証券	1,575,342	706,010
繰延税金資産	587,287	569,362
その他	608,629	563,551
貸倒引当金	△268,206	△146,077
<b>資産合計</b>	<b>45,280,360</b>	<b>38,699,119</b>

(単位:千円)

負債の部	(単位:千円)	
	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>12,566,665</b>	<b>10,171,241</b>
支払手形及び買掛金	3,392,821	3,417,140
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年以内返済予定長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	2,836,977	272,670
賞与引当金	285,551	254,359
前受金	4,008,890	4,177,561
その他	742,424	749,509
<b>固定負債</b>	<b>3,362,781</b>	<b>3,284,459</b>
長期借入金	400,000	700,000
役員退職慰労引当金	503,954	—
その他	2,458,826	2,584,459
<b>負債合計</b>	<b>15,929,447</b>	<b>13,455,701</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	362,992	212,837
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>7,934,100</b>	<b>7,934,100</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>8,371,830</b>	<b>8,371,830</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>12,475,532</b>	<b>8,865,052</b>
その他有価証券評価差額金	206,751	△140,110
<b>自己株式</b>	<b>△292</b>	<b>△292</b>
<b>資本合計</b>	<b>28,987,920</b>	<b>25,030,579</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>45,280,360</b>	<b>38,699,119</b>

## ■連結損益計算書

(単位:千円)

経常損益の部	(単位:千円)	
	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>営業損益の部</b>		
売上高	30,723,810	24,959,669
売上原価	16,510,304	13,687,741
売上総利益	14,213,505	11,271,928
販売費及び一般管理費	6,038,483	5,783,601
<b>営業利益</b>	<b>8,175,022</b>	<b>5,488,327</b>
<b>営業外損益の部</b>		
<b>営業外収益</b>	<b>112,292</b>	<b>94,037</b>
受取利息	69,364	43,832
家賃収入	17,400	13,510
その他の営業外収益	25,528	36,694
<b>営業外費用</b>	<b>23,342</b>	<b>60,849</b>
支払利息	12,996	45,591
その他の営業外費用	10,345	15,258
<b>経常利益</b>	<b>8,263,972</b>	<b>5,521,514</b>
<b>特別損益の部</b>		
<b>特別利益</b>	<b>15,162</b>	<b>—</b>
その他の特別利益	15,162	—
<b>特別損失</b>	<b>747,610</b>	<b>6,052,410</b>
固定資産評価損	—	5,779,387
たな卸資産廃棄損	158,081	145,408
投資有価証券評価損	—	59,539
投資有価証券売却損	91,956	—
過年度役員退職慰労引当金繰入額	487,669	—
その他の特別損失	9,902	68,075
<b>税金等調整前当期純損益</b>	<b>7,531,525</b>	<b>△530,895</b>
法人税、住民税及び事業税	3,029,952	434,988
法人税等調整額	104,940	△324,984
少数株主利益	156,156	73,937
<b>当期純損益</b>	<b>4,240,475</b>	<b>△714,837</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体決算概要

### ■連結剰余金計算書

(単位:千円)

	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	8,371,830	8,371,830
資本準備金期首残高	8,371,830	8,371,830
資本剰余金期末残高	8,371,830	8,371,830
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	8,865,052	10,193,486
連結剰余金期首残高	8,865,052	10,193,486
利益剰余金増加高	4,240,475	—
当期純利益	4,240,475	—
利益剰余金減少高	629,996	1,328,434
当期純損失	—	714,837
配当金	567,996	567,996
役員賞与	62,000	45,600
利益剰余金期末残高	12,475,532	8,865,052

### ■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,948,394	1,853,845
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△823,020	△1,030,841
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△873,677	1,343,337
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△12
V 現金及び現金同等物の増加額	7,251,696	2,166,328
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,680,028	6,513,699
VII 現金及び現金同等物の期末残高	15,931,724	8,680,028

### ■単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第30期 (平成16年3月31日現在)	第29期 (平成15年3月31日現在)
流動資産	24,071,791	19,408,927
固定資産	10,968,615	10,039,993
有形固定資産	5,774,217	5,923,352
無形固定資産	56,495	67,764
投資その他の資産	5,137,902	4,048,876
資産合計	35,040,407	29,448,920
流動負債	5,800,916	3,339,219
固定負債	807,655	545,766
負債合計	6,608,571	3,884,986
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	11,919,471	9,398,441
その他有価証券評価差額金	206,726	△140,144
自己株式	△292	△292
資本合計	28,431,835	25,563,934
負債・資本合計	35,040,407	29,448,920

### ■単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第30期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第29期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	26,113,079	20,580,880
売上原価	14,679,979	11,168,978
売上総利益	11,433,100	9,411,902
販売費及び一般管理費	5,345,169	4,551,406
営業利益	6,087,931	4,860,496
営業外収益	131,296	101,117
営業外費用	6,197	48,164
経常利益	6,213,030	4,913,449
特別利益	9,162	—
特別損失	746,687	6,043,404
税引前当期純損益	5,475,505	△1,129,954
法人税、住民税及び事業税	2,161,037	42,113
法人税等調整額	171,440	△479,734
当期純損益	3,143,026	△692,333
前期繰越利益	4,031,533	5,345,863
中間配当額	227,198	227,198
当期末処分利益	6,947,362	4,426,331

### ■利益処分

(単位:千円)

	第30期	第29期
当期末処分利益	6,947,362	4,426,331
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	454,396	340,797
(1株につき 40円)		
役員賞与金	83,000	54,000
(うち監査役賞与金)	(6,000)	(2,000)
次期繰越利益	6,409,965	4,031,533

# 株式の状況

(平成16年3月31日現在)

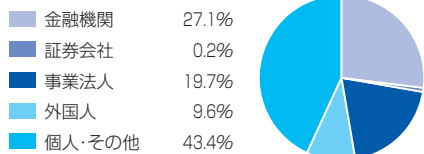
## 発行株式数および株主数

会社が発行する株式の総数	3,381万株
発行済株式の総数	1,136万株
期末株主数	3,786名

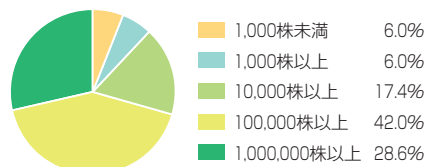
## 大株主の状況

株主名	持株数	議決権比率
	千株	%
(有)イー・エムプランニング	2,125	18.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	1,124	9.90
日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口)	728	6.41
松波廣和	702	6.19
松波香代子	514	4.52
松波明宏	500	4.40
(株)東京都民銀行	300	2.64
古宮重雄	245	2.16
五味輝雄	225	1.98
野村信託銀行(株)(投信口)	223	1.96

## 所有者別分布状況



## 所有株数別分布状況



# 会社の概況

(平成16年3月31日現在)

商号 株式会社マースエンジニアリング  
(Mars Engineering Corporation)

本社所在地 東京都新宿区新宿一丁目10番7号

設立年月日 昭和49年9月13日

会社の目的 1. 各種電子機器の設計・試作並び  
に製造販売

2. ソフトウェアの開発

3. 電子機器の開発、企画並びに販売

4. 電子機器の市場調査

5. ホテルの経営

6. 不動産の賃貸業

7. 損害保険代理店業

8. 前各号に付帯する一切の業務

資本金 7,934,100,000円

就業者数 426名 (男385名、女41名)

主要取引先 <販売先>

東京リース(株)

芙蓉総合リース(株)

オリックス(株)

三井住友リース(株)

(株)マーステクノサイエンス

<仕入先>

(株)ウインテック

(株)テックプレジジョン

(株)ムサシ電工

(株)マースラインテック

シルバー電研(株)

取引銀行 (株)東京都民銀行 東新宿支店

(株)りそな銀行 新宿支店

(株)UFJ銀行 新宿支店

(株)三井住友銀行 新宿通支店

## 役員 (平成16年6月29日現在)

代表取締役会長	松波 廣和	取締役	村上 浩
代表取締役社長	古宮 重雄	取締役	寺島 利勝
取締役副社長	五味 輝雄	取締役	高橋 延生
常務取締役	川上 善清	常勤監査役	後藤 利行
常務取締役	松波 明宏	監査役	竹俣 耕一
取締役	大矢 俊寿	監査役	池田 勉

## 執行役員 (平成16年6月29日現在)

古越 登	営業統括部東日本営業部長	渡邊 廣美	製販統括本部製造部長
杉本 孝司	営業統括部東海営業部長	佐藤 忠義	総務部長兼特許管理室長
秋山 裕和	営業統括部西日本営業部長	佐藤 敏昭	経理部長
井出平三郎	製販統括本部技術開発部長	杉内 雄二	営業統括部ラインテック事業部長

## 事業所一覧 (平成16年6月29日現在)

<b>本社</b> 東京都新宿区新宿1-10-7	<b>大阪営業所</b> 大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋Sビル	<b>長野駐在所</b> 長野市西尾張部1089-10
<b>札幌営業所</b> 札幌市白石区南郷通8丁目北2-25 第3タチカビル	<b>兵庫営業所</b> 明石市本町2-1-26 日生明石ビル	<b>新潟駐在所</b> 新潟市出来島1-2-12 DNビル
<b>仙台営業所</b> 仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル	<b>広島営業所</b> 広島市中区大手町2-8-5 野村不動産大手町ビル	<b>金沢駐在所</b> 金沢市北安江1-1-2-31
<b>大宮営業所</b> さいたま市中央区新中里5-11-6	<b>福岡営業所</b> 福岡市博多区博多駅東3-11-28 博多サンシティビルⅡ	<b>浜松駐在所</b> 浜松市野口町247
<b>千葉営業所</b> 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 こみなと稲毛ビル	<b>鹿児島営業所</b> 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル	<b>岡山駐在所</b> 岡山市野田2-4-1 シティセンタービル
<b>東京営業所</b> 東京都新宿区新宿1-11-16 サンサーラ第五御苑ビル	<b>北見駐在所</b> 北見市高栄東町2-4-14	<b>松山駐在所</b> 松山市空港通1-3-16 土居田OKビル
<b>西東京営業所</b> 府中市栄町3-1-1	<b>盛岡駐在所</b> 盛岡市津志田23-9-8	<b>熊本駐在所</b> 熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル
<b>横浜営業所</b> 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPウエストタワー	<b>郡山駐在所</b> 郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル	<b>沖繩駐在所</b> 浦添市伊祖3-4-12
<b>静岡営業所</b> 御殿場市東田中2-22-25	<b>水戸駐在所</b> 水戸市河和田1-1828-9	<b>裾野技術センター</b> 裾野市伊豆島田818-8
<b>名古屋営業所</b> 名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル	<b>高崎駐在所</b> 高崎市新保町41 クローバービル	<b>東富士工場</b> 御殿場市柴怒田961-45
<b>京都営業所</b> 京都市中京区烏丸通御池下ル 虎屋町577-2 太陽生命御池ビル	<b>甲府駐在所</b> 甲府市真川1-7-12	<b>テクノ流通センター</b> 御殿場市東田中2-22-25
		<b>府中テクニカルセンター</b> 府中市栄町3-1-1